

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所主催フィールド言語学ワークショップ

テクニカル・ワークショップ

文法研究とデジタル・ヒューマニティーズ (3)

「アノテーションソフト ELAN を用いた自動グロス付け」

開催のお知らせ・募集要項

このワークショップは少数言語・危機言語のフィールドワーク、ドキュメンテーションをおこなっている研究者・学生の皆様を対象に、調査・研究に役立つ知見や知識を伝えることを目的としています。

ELAN は音声・動画などの言語データに転写・翻訳・グロスなどのアノテーションをつけるためのソフトウェアです。今回は ELAN を用いて自動的にグロス付けを行う方法について実習を行います。前半では、ELAN の基本操作および ELAN にあらかじめセットされている機能のみを用いたアノテーションの自動化について学びます。後半では、前半で作成したアノテーションを改善する方法を学習します。具体的には、エクセルファイルの辞書が ELAN 辞書に反映されるようにする方法、Python で自動アノテーションする方法、自動アノテーションできなかった箇所を一覧で書き出す方法などについて解説します。

言語記述に従事しテキスト資料を扱った経験のある方を主な対象としています。ELAN および Python の事前知識は必ずしも必要ありません。

上記のテーマにご関心をお持ちの方のご参加をお待ちしております。

記

1. 開催日時：2024 年 11 月 28 日（木）10:30～15:30（休憩 12:30～13:30）
 2. 開催場所：AA 研マルチメディア会議室（304）
 3. 講師：加藤幹治（ROIS-DS 人文学オープンデータ共同利用センター）
 4. 参加資格：上記テーマに関心のある研究者
※ 大学院生以上を原則とします。それ以外の方についてはメールで下記 8. 問い合わせ先記載のメールアドレスまでお問い合わせください。
 6. 定員：10 名程度（先着）
 7. 参加申込方法：下記 URL にアクセスして、ご登録ください。
<https://lingdy.aa-ken.jp/news/16837>
なお、右記 QR コードからでも同じページにアクセスできます。
- 
7. 申込締切：11 月 25 日（月）正午（ただし定員に達し次第締め切ります）
 8. 問い合わせ先：
倉部慶太 kurabe [at] aa.tufs.ac.jp（[at]を@に変えて送信ください）
 9. その他：
 - ・ワークショップは日本語でおこないます。
 - ・参加は無料です。
 - ・他の参加者に聞いてみたいことや解決したい悩みが具体的にある方は、申込フォームの「関心分野」にお書きください。

※ご不明な点がございましたら、上記「8. 問い合わせ先」までご連絡ください。

※過去のテクニカル・ワークショップにつきましては、

<http://www.aa.tufs.ac.jp/ja/training/fieldling-ws/data-pro-ws> をご覧ください。

共催

- ・東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 基幹研究「アジア・アフリカの言語動態の記述と記録:アジア・アフリカに生きる人々の言語・文化への深い理解を目指して(DDDLing)」
- ・TUFS フィールドサイエンスコモンズ (TUFiSCo)
- ・東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 情報資源利用研究センター (IRC)

以上